

# 「天使の園 (児童養護施設)」エンゼル祭に参加 北海道北広島市 23名の学生が参加!

ハレルヤ! 主の御名をほめたたえます。

去る9月23日に、「天使の園」という児童養護施設でもたれたエンゼル祭に23名の学生が参加しました。30分間の出し物の時間を通して、ゴスペルフラダンスやフラッグ、賛美を子どもたちや施設職員、地域の方々、約100名の前で発表する機会が与えられました。賛美を聞かされていた方の中には涙ぐまれている姿も見られ、伝道は禁止という状況の中、主の愛と臨在が豊かに満ちあふれ、祝福された時となりました。また、出し物以外の時間でも、施設の子どもたちとの交わりや短時間でしたが祈る時間も持てました。

今回、ここに至るまでは書き記せないほど数多くの不思議な導きと助けがありました。何より、学院に15年前開かれていた「天使の園」への働きが一度閉ざされた後、今回再び開かれたことに神様の偉大なご計画を感じずにはいられません。『確かに今は恵みの時、今は救いの日です。』第二コリント6:2。これからも、「天使の園」との関係性をそれぞれができることを持って続け、福音の種まきをしたいと願います。どうぞお祈りください。



『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』

マタイ25:40

CHRIST FOR THE NATIONS JAPAN BIBLE SCHOOL

## 2008年度新入学 4月生募集中!

### あなたも学んでみませんか?

'08年1月からも入学出来ます!

※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。

ホームページが新しくなりました  
ご覧下さい!  
cfnj.com



- ★アルプス(牧師リーダー)コース
- ★1・2年コース
- ★CMP(児童・親業)コース
- ★短期コース
- ★通信・聴講制度
- ★演劇・ドラマコース ★タンバリンクラス
- ★ワークショップダンスクラス ★ドラマクラス
- ★フラッグクラス ★ピアノクラス
- ★バーナークラス ★英語クラスほか

#### <学院の主な特徴>

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・海外・国内アウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・国内外からのゲストスピーカー



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688  
●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文



「聖書が教える命の大切さ」

## 「隣人になる」とは?

「小さな命を守る会」代表・牧師・教育学博士 辻岡健象師

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院 2007.10.11月号 NO.125

声はすぐ止まりました。しかしその後のガチャガチャという機械の音の長いこと、それは長く続きました。三十分も四十分も続きました。殺人鬼と罪のない幼児との魂の闘争は一時間も続いたかもしれません。幼い身体を刻まれて、この悲惨な劇は終了したのです。『闇に哭(な)く胎児たち』—人工妊娠中絶—(天目昭一著 泉分社)」

命は神様が造られたものです。命は神様のものであり、神様の形をとっており、神様の栄光を表すものです。その命が受け継がれて、最後にイエス様が再臨されてこの世を救ってくださるという過程の中に私たちは生きていますから、私たちは本当に命の大切さを覚えていないと、宣教にも意味がなくなり、生かされている意味もなくなってしまいます。この過程の中で、中絶がはびこり、命が操作できるということは、自分が神のようになろうとしているわけですから、これは21世紀のバベルの塔を築いているようなものです。私はこれに対して神様の裁きがいつか必ず下ると思っています。

### 「命の軽視」と「性の乱れ」の関連性

命が軽視されていくと、性が乱れていきます。現在、性が乱れている背後には、命の軽視があります。性は命と関係がありますから、命について考える時、性についても問いていかなければなりません。私は命を扱う働きに携わっていますからいろんな人に接する機会が多くあります。例えば政治家や教育者、法律関係の人とかです。彼らはクリスチャンではありませんが(私がクリスチャンであることは知っています)この世の方法に行き詰っているのを実感しており、私に「聖書にしか解決がありませんよね。」と言うのです。法律書でも医学書でも、政治の本でも頻繁に書き直されています。しかし、聖書だけは書かれた時から、何千年もずっとそのままです。書き換えても書き加えてもならない。ですから、聖書を信じていない人でも、聖書が大切だと思い始めていますから、この分野でも聖書を用いていきましょう。

### 性中毒の日本社会

どのようにして性が乱れていったのでしょうか。性の自由を皆が言い始めて、間違った自由の方に向かって行きました。「フリーセックス」をおおるために性産業があります。性産業は、一年間に2~4兆円の収益を上げています。刺激的な性描写、ポルノやアダルト雑誌、ラジオ、テレビ。これらを公の場にさらしているのは日本だけだそうです。日本は今や、性中毒の時代になっています。

### サタンの狙い

神様によって与えられた本能、食欲、性欲、睡眠欲の三つはとても大切ですが、サタンはそれを狙います。アダムとエバが始めに誘惑されたのは食欲です。私の幼少期は貧しくいつもお腹をすかしていましたが、今は違いますね。特に北半球の多くの地域では食欲が満たされているので、サタンは性欲を狙っています。そして私達はその中にいます。特に、十代の性行動が急速に、急激に、完全に変化しています。ある産婦人科医の夫妻が沖縄から北海道まで十代の性行動を調べ、「セックスネット」という言葉を作りました。以前は援助交際というのがありましたが、今は「セックスネット」です。その意味は、一組の付き合っている男女がいたとして、男性も女性も一週間に複数の異性と関係を持っている状態のことです。そのようなカップルが十代で13%いると言われていました。ですから、学校ではコンドームを使わないと、妊娠、性病にかかる可能性があるかと教えます。「コンドームを使えば良い。それなら安全だ」という「セーフティーセックス」は決して安全ではありません。コンドームは妊娠を100%防げるわけではありません。性感染症、エイズが防げる、という点については85%で、あとの15%は確実にエイズになっていくというデータがあります。

### 命が軽視される原因

日本における中絶の原因の99%は経済的な理由です。しかし、日本は富んでいる国です。洋服の支払いや車の支払はする。しかし命の支払いはできないというのです。命が軽く見られています。ちりあくたのように捨てられています。では、命が軽視される理由を考えて見ましょう。その一つに核戦争があげられます。大量に人が死ぬのを見聞きすることで、人の死に対して驚かなくなってきました。もう一つは、生殖革命です。それは命を操作し、命の品質管理をすることです。お腹の中を調べて、産むか産まないかを問う。産まないと決めたら100%殺すしかありません。また、精子銀行というのをご存知ですか。ノーベル賞を受賞した科学者達の精子が高い値で売られています。夫婦の子であるかないかより、頭のいい子であればいいというような恐ろしい時代になっています。人の価値を、頭がいいからとか才能があるからとか、そういうことで決めています。性も神様から与えられていますから、女の子が欲しいから女兒を、男の子が欲しいから男児を産むということもできません。それらは神様からのものなので私物化してはいけません。生命操作はあってはならないのです。

### 赤ちゃんはどのように中絶されていくのか

ある産婦人科医院に勤務していた元看護婦さんの手記をお読みします。

「この医者は徹底した儲け主義で電気料も節約するため八時に消灯、消毒液も儉約のため冬でも氷でやる、他は推して行うことができます。

赤ちゃんはそうとう成熟していましたので、もちろん母体から出たときは息をしていました。手術台には受け台もなく赤ちゃんはそこからすべり落ちて、へその緒だけにつながってぶらんぶらん回転していました。生きています。

医者は平気です。モノとしか思っています。赤ちゃんが下に引かれる力で、後産がすぐ出ました。頭を下に固い床に墜落です。当然、脳震とうで息絶えることを予期しているのです。普通ならここで注射を打って、せめて苦痛をここで止めると思っていますと、わずかの注射代がもたないというので自然に死ぬのを待つという経済的な方法を取るらしいのです。

しばらくすると、死んだと思った赤ちゃんが泣き出しました。皆があわて出すと、医者は冷然と口中に手ぬぐいを押し込み、鼻をつまみ、心臓を圧迫して窒息させました。

手ぬぐいを押し込まれた赤ちゃんは手足をピリピリさせて、ちょうど”スルメのように”伸びてしまいました。

赤ちゃんの”死体”は汚物入れの中に放り込まれて、三十分も経ちますと、また動き出して泣きかけたのです。(何という生命力!) 医者は困ったやつという顔で、汚物入れの容器一杯に水を浸せと命じました。私はもう見ておられず、横を向いていると、水を飲み込む音や水中から空気を吐き出す音が何とも言えぬ異様な響きでグズグズ、グズグズと聞こえてきます。今度こそ本当に死んだと思っていました。また二十分…ふと気がつくとも、赤ちゃんの涙ぐましい生命力で、いつの間にか水面に鼻を出して呼吸を始めました。まだ生きています! 医者は洗濯板を出して上に乗せました。水中に押し込んで死なせる訳です。

この運命の赤ちゃんは、不思議にもこのような暴虐な仕打ちを受けながらも息絶えず、それから二十分後、また泣き出したのです。

医者は言いました。  
”これじゃ近所迷惑だ。第一、病院内のオレ達が睡眠不足になる。よし、始末する。機械を出してくれ。”機械とは四ヶ月以内の胎児をグチャグチャにつぶす目的のものです。私は、やっとここまで我慢しましたが、もう耐えきれず、機械を渡すと後ろも見ず、隣室に逃げ込みました。

### 特別講義

### 「聖書が教える命の大切さ」

### 「隣人になる」とは?

「小さな命を守る会」代表・牧師・教育学博士

辻岡健象師



### 日本における中絶の現状

現在、医師が厚生労働省に、中絶を行なったという報告を出すのは、約30-40万件です。命を守るはずのお医者さんが、私はこれだけ殺しましたと報告しています。しかし、これは届出の数で、未届出も合わせたら、最低300万件にはなると言われています。300万人前後だとすると、一日に1万人近い数、十秒に一人という計算になります。これが現状です。日本は1948年、世界に先駆けて優生保護法(お腹の中の赤ちゃんを殺してもよい)という法律を作りました。世界では、日本が殺人法を制定したと言って驚きましたが、その後、カトリックの国の一部を除いて各国も真似ました。うっかりすると、私達クリスチャンも神様が造られた命を、人間が作った法律に惑わされて、中絶はいいでしょうと言ってしまいかねません。これは「殺してはならない」と言われた神様の教えに逆行していますから、私たちは信仰生活や伝道、交わりの中でそのことを伝えていかなければなりません。私たちはサマリヤ人となって愛を注いで助けたい。それが今現代のクリスチャンの生き方だと思います。イエス様ご自身も神から人になられ、このサマリヤ人のようになっていろいろな人のところへ行かれ、苦しみ悩み滅びに向かう私達のもとにも来てくださいました。イエス様が私達のために死なれ、ご自分の死によって滅びから永遠のいのちへと導いてくださいました。だから、「あなたも同じようにしなさい」と声をかけられています。

### 「隣人になる」とは (ルカ10章30-37節より)

強盗に襲われ、半殺しにされた人がいました。祭司とレビ人が通りかかりますが、わざと見ないふりをして行きました。関わることを拒んだのです。ところが、一人のサマリヤ人が、彼をかわいそうに思って、具体的に世話をします。イエス様はこの三人の中で、誰がその人の隣人になるかと言われました。この「なる」というのがこの物語の鍵です。近くにいるから隣人になるのではなく、その人に愛を注ぎ、憐れみをかける時に、隣人になります。イエス様は、あなたも行って同じようにしなさいと言われました。愛というのは、「名詞ではなく、動詞」、「知識ではなく行い」とよく言われます。極端に言うと、愛するために隣人がいるということです。その隣人が困っている時、愛は待ちません。待てません。すぐそれをしないと自分が災いとさえ思ふような燃えるものです。最も小さいものに対しても愛は必要です。ある時、中絶を行っていたある産婦人科医は、イエス様が、「最も小さい者にしたのは、わたしにしたのと同じである」と言われたのを聞いた時、最も小さい者とは誰かと考えました。大人と子どもであれば子ども。子どもの中で最も小さいのは、赤ちゃん。赤ちゃんの中でも小さいのはお腹の中の赤ちゃん。お腹の中の赤ちゃんの中でも最も小さいのが中絶されていく赤ちゃんだと気づきました。実は彼は何千何万という赤ちゃんを中絶してきたのですが、この聖書の言葉を聞いて小さなイエス様を殺してきたことを悔い改め、今度は助ける側に回ると言いました。



## 結婚の中におさめられた性の祝福

性とは、神から与えられている命につながる祝福ですから、神の秩序や法則があります。食事の場合は、たくさんの人々と楽しく交わります。これは聖書にある祝福の原則の一つです。イエス様も十字架にかかれる前、最後の晩餐をされました。ところが、性は複数の人とではなく、神様が定められた対一の結婚の中にあります。しかし、私たちはその枠を破ってしまいました。秩序を無視してしまったのです。そこに命の軽視の原因があることも覚えてください。中には、皆がそうしているから、自分だけが正しく生きようとする、よそもの扱いされ、天然記念物とか化石とか思われるのを避けるために、皆が行く方向に行ってしまうという人も多数います。私達は聖書の基準を目指していかなければなりません。それ以外に解決はありません。ソドムとゴモラは性的に乱れた町ということで、裁きを受けたと聖書に記載されています。私たちはソドムとゴモラの罪に加えて中絶という殺人の罪があります。

## 性は人格の中心

今の時代は愛し合っていればいいという理由だけで、セックスが是認されている風潮があります。それではあまりにも動物的過ぎないでしょうか。異性と肉関係を持ち始めるのは年々低年齢化し、中学生でも持ち始めています。中学生時代から自分を管理し、自分をコントロールするということは、人格形成上にも、社会生活上にも大切な要素です。相手の立場を尊重し、自分の行動に責任を持つことを教えるのが教育だと私は思います。人格形成上にも、と申しましたが、性という字は「心」に「生きる」と書きます。これは、人格の中心です。そして、「性格、性質、人間性」という言葉に使われているように、性は人格の中心に置くべきものなのです。だからそこが生きるのです。性は本来、精神的な問題、且つ、人格的なものであるのに、私たちはそれを動物的なものにしてしまっています。「性」は命の「生」につながり、「生」は聖書の「聖」につながっていきます。

## 性の秩序

性には秩序があります。結婚まで急がず、自分を神の前に正しく秩序を保つことです。結婚＝セックスではありません。性は結婚の中にあります。それは純潔教育です。性教育は人格の中で捉えるべきです。人格を無視した性欲のはげ口対策としての避妊教育が強調するのは、性教育ではなく、性器教育です。性器の話ばかり聞いていると、「自分の性器だからどう使おうと勝手じゃないか」となります。性器も神様が与えてくださった大切な性の一部です。決して自分勝手に、本能のままに使うものではありません。管理が必要です。欲望の赴くままではなく、自制する、管理することを学ぶところに人間としての価値があり、生き方があり、ルールがあります。これは、結婚の中で尊ばれるもの、祝福を受けるもの、だから、結婚外であってはならないということです。清く正しく生き、相手愛してあげれば、そう簡単には性行為をしようにと迫らないものだというお話は、40～50年前のお話だと言われることがあります。しかし、何年前の話だとしても、聖書の真理は永遠に変わりません。この聖書の言葉を私たちは活かしましょう。私達が生きる上で、すべてのなかに秩序があるということは、魚は水の中、鳥は空。魚が水の中がいやだからと言って、そのルール、秩序を乱して自ら飛び出すと死んでしまいます。車の運転でも、交通ルールという秩序の中でしか運転できません。死につながりますね。聖書は私達を祝福するための神様の秩序、法則を教えています。これ以外にありません。私たちは神様の秩序と法則を知りながら、生き、生かされていく必要があります。現在、性感染症、しかも複合の性感染症にかかっている人が十代で四人に一人の割合です。それはエイズにつながりやすいのです。診察をしている人、していない人全部足しても七人に一人は必ず性感染症にかかっているというデータがあります。ですから、管理すること、神様の秩序を守ることを大切にしなければなりません。

## 神様の赦しをいただく

性は結婚の中で祝福されるように神様が定められました。「生めよふえよ」というのも結婚の中にあり、そこに神様の救いが成就されていくのです。性自体はとても尊く聖いものです。だから、サタンの誘惑に負けてはなりません。これまで負けてしまった人は、イエス様の十字架によって、完全に許されているわけですから、もう一度立ち直ってください。これが私達の信仰です。神様は性を見て、「はなはだ良い」と宣言された後、罪が入りました。そして、アダムとエバが罪を犯した後、彼らが最初に隠したのは陰部です。性には慎みがないといけません。開けっぴろげはよくありません。神様は私達を祝福されたいゆえに、性を大切にするように言われました。今まで、中絶の体験者、フリーセックスをしてきた人も、イエス様の十字架によって完全に赦されます。水子供養とかそういうものではないのです。ですからこれにすぎた以外に、私たちは新しく生きられないと思いません。しかし、失敗はしますから、それをイエス様の十字架によって完全に赦していただきましょう。そして、キリストにあるならば新しく造られたものとなります。「見よ、すべてが新しくなった」と言われるとおりです。これが生きた信仰です。イエス様の十字架の救いは、そういう人たちに命をふきかけています。そのような力ある福音を私たちは持っています。決して中絶しているお医者さんを責めない、中絶した女性を責めない、それをさせた男性も家族も責めない。でも、私たちは「救いがある」と言うことを決してゆずってはなりません。神様はそれを私達に期待しています。そのためにあなたは救われたのです。このような現実を多くの人は知りません。それを知った一人一人が、行って同じようにしてください。イエス様もそのことをしてくださっていますから。

## 世に遣わされた者として

「ミッション」という言葉を、日本語では「宣教」とだけしか訳されませんでしたから、罪を悔い改めなさいということだけの的を絞ったのがミッションだと思っていた時代が長くありました。ですから、私たちは「伝道＝神様、罪、悔い改め、救い」という形を思ってしまうがちです。でも、「ミッション」という言葉は、「世の中に遣わされた者」という意味もあります。私たちはこの世の中に遣わされています。だから、神様の言葉を語ることに、そして「あなたも行って同じようにしなさい」と言われたその使命を果たしましょう。神様は宣教を天使にはゆだねてはけません。世の人と同じ世界に生き、罪を犯したけれども赦された人々、すなわちクリスチャンである私達にゆだねられました。そして神様の働きをしていますから、神の器、神の友と言われます。それがクリスチャンです。その時に神様は、ご自身を「アブラハムの神、ヤコブの神、イサクの神」と言われ、続いて私達の名前を入れてくださいます。神様は「〇〇（あなたの名前）の神」と言うことを恥とはなさらないのです。私たちはその中に生かされています。これは厳粛な事実ですから、そのことを受け止めてください。エゼキエル33章に、もし民が神の言葉を知らずに滅んでいく時に、見張人が角笛を吹かなくてその人たちが滅んだなら、その血の責任を角笛を吹かなかった人に問うと言われました。私たちは警告することを神様に期待されているのです。神様は「わたしは誰を遣わそう」と言われました。イザヤはそれに答えました。「私がここにいます。私を遣わしてください。」これが、あなたが導かれる上での神様の厳粛な背後の導きです。主は、「御心が天で行われるように、地にも行われるように」と祈るよう教えてくださいましたね。二千年間、私たちはその祈りを守っていますが、ただその御心とだけ祈ったのであれば、あなたを通して御心が成就しないのです。たとえつまづきながらも、又、失敗しながらでも、その御心を行う時、それは成就していきます。私達はそういう器です。洗礼を受ける時も、古い自分が死んで、新しい者に生まれ変わりましたと言います。「古い自分が死んで新しい自分」とは、新しい命で生きていくということです。それを実行していく時、神の栄光が表れるのです。■



一般コース・宮崎県  
高木 頼幸

■主の御名をほめたたえます。入学して早くも一ヶ月が過ぎました。いつ脱走しようかと思っていた最初の数日間が嘘のように主にあつて毎日楽しく学んでいます。これからもイエス様のことをたくさん学びたいです。



一般コース・韓国(ソウル市)  
金 東賢(キム・ドンヒョン)

■主に感謝します。ぎりぎりに入学生続きをし、その後も長い休みを頂いたりして、色々と失礼なふるまいが多い私ですが、皆さんが親切に暖かく受け入れてくださり、いつも笑いにあふれた学院内で楽しく学べてとても感謝しています。わたしもこれから主のために頑張ります。わたしもお祈りください。皆さんの上にも主の祝福があふれますように。



CMPコース・宮崎県  
柳田 洋子

■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。入学して学院生がイエス様の御言葉に聞き入るマリヤさんのように見え感動しました。ここに導かれた主と執り成してください。つた兄弟姉妹又家族に感謝します。



一般コース・台湾  
劉 桂英(リウケイエイ)

■神様に感謝します。私が、この学院に入学生出来た事は、学院生やスタッフ、また母教会の兄弟姉妹が祈ってくれたからだと思います。みんなに感謝します。私は、1年コースですが、この1年間を大切に過ごして、もっと神様と深く交わることが出来るように、学びたいと思います。



一般コース・沖縄県  
島袋 りか

■「私は私の愛する方のもの。私の愛する方は私のもの。あの方はゆりの花の間で群れを飼っています。(雅歌6:3)ーイエス様を思うこの気持ちでCFNJに入ってください。ここで受けた全ての恵みを主に感謝します。これから、ますます成長して主に仕える人となりますように。」

2007年9月3日(月) 午前9時より

# 新入生のご紹介

■2007年度は4月に17名の新入生が入学したのについで、9月(2学期)からも5人の新入生が与えられ、9月3日(月)に入学式が行われました。在校生と合わせて33名の全日制的の学生たちが、同じ屋根の下で生活を共にしながら、学びと訓練を受け、与えられた奉仕に励んでいます。神様に選ばれ召しだされた一人一人が、その召しにふさわしく歩み、主に用いられる働き人として成長できるようにお祈りをよろしくお願いたします。





World Prayer and Share Letter

# とりなし手の皆様へ 世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



## アメリカ

リック・ウォレン氏（『人生を導く5つの目的』の著者）が妻が癌と診断された時のことについて話しました。「以前私は、人生は山あり谷ありと思っていました。苦しいところを通って、また山のてっぺんに行く、その繰り返しだと。しかし、今はそんなふうには思わなくなりました。私にとって人生は線路の2本のレールのようなもので、良いこと悪いことは常にあります。つまり、「悪いこと」はいつも取り組むべきものがあるということ、又、いかに最悪の事態が自分の人生に起こっても、同時に神様に感謝できる「良いこと」が必ずあるということです。楽しい時とは？神様を賛美する時です。困難な時とは？神様を探し求める時です。静かな時とは？神様を礼拝する時です。痛みがある時とは？神様を信頼する時です。すべての時に・・・神様に感謝しましょう。（2002年、ポール・ブラッドショー氏によるリック・ウォレン氏とのインタビューより）

リック氏の妻ケイ夫人は、癌が軽快して数年経ちます。神様に感謝します。私たちはケイ夫人の完全な癒しのために祈っている数百万の人々と共に心を合わせて祈っています。ケイ夫人はHIV・エイズの蔓延を阻止するため、アメリカの諸教会の意識を高めようと全力を尽くして働いています。

## ベトナム

デヴィッド・ハント博士（ワールドサーヴ・ミニストリー代表）は、共産主義政府であるベトナムが地下教会に10万冊の聖書を印刷する許可を与えた、と驚くべき展開を報告してくれました。ハント氏は、「私たちはこの国の歴史上、最も大きな機会と開かれた門を見えています。ベトナムの教会は爆発的に成長しており、1975年に洗礼を受けた約5万5000人から、今や100万人以上の信徒数に達しています。（ジョエル・ニュースwww.joelnews.org デヴィッド・ハント博士、ミッションネットワークニュースより）

神の御言葉はむなしくご自身のもとには戻りません。聖霊様がこれらの聖書を義に飢え渴いた人々の手に渡るように導いてくださるよう祈りましょう。

## 中国

ヒューゴー・チャン氏はフルゴスペル・クリスチャン・ビジネスマンの集いを導く、香港に拠点を置く弁護士です。彼は、福音伝道に的を絞った夕食会を主催するというスタンダードなアプローチを用いながら、中国内を100回も旅行しましたが、余り実を結ぶことはできませんでした。しかし、昨年は彼にとって大きな破れがありました。まず、ある大きな国際投資会社から、多額の経済的的祝福をもって彼を顧問弁護士として招きたいとの要請がありました。次に、彼は今年2007年3月に盛大な夕食会のために中国の10都市からビジネスマンを動員し、90人が出席しました。それは素晴らしい夕食会になったそうです。そこに、面識のない政府の役

人5人が夕食会に出席していました。終了後、そのうちの一人がヒューゴー氏に話しかけました。「私はあなたがなさっていることが好きです。あなたは宗教をしているのではありませんね。あなたは我が国の益となるでしょう。私は女性市長のいる691の都市を担当している政党役員です。私の管轄下の全都市でこのような夕食会を持っていたらと思います。彼らはあなたが持っているものを必要としています。私は彼らの所あなたをお連れして、その町々が開かれるように致します！」（C. ピーター・ワグナー、ICA - 2007年ジョエル・ニュース；www.joelnews.orgより）

この扉を開いてくださった神様にすべての賛美と栄光をおささげします。ヒューゴー・チャン氏を祈りに覚えましょう。敵はこの伝道の機会を潰すためにあらゆることをしてくれよう。しかし、私たちはイエス様の流された血潮と復活の勝利を及ぼすことができます。ですから、中国での福音伝道のために働いているこれらの人々のために、私たちは霊的戦いを続けていかなければなりません！

## イスラエルのための緊急祈り課題

2007年9月11日、イスラム教のテロリストによってガザから発射された2機のロケットが、イスラエル防衛軍(IDF)軍隊基礎訓練基地を直撃し、軍人67人が負傷しました。テロリストは、6年前にニューヨークで起こった9.11のテロ攻撃の犠牲者に敬意を表すために持たれた全国的な追悼式と同じ日に、「憎悪」のメッセージを送っていたように見えます。又、他の敵対国がイスラエルに攻撃するのを誘発させ、イスラエルに報復をけしかける目的があったように思われます。

「二つのパレスチナ人テロ集団、パブリック・レジスタンス委員会(ナスル・サラ・アルディン組織)とイスラムのジハード武装組織であるアルクドス組織が、その攻撃の犯行声明を出しました。ファウジ・バーホウム(ハマスのスポークスマン)はハマ斯拉ジオで、『これはそのレジスタンスのためのアラールからの勝利である、と私たちは考える。』と言いました。負傷したイスラエル軍人67人のうちの1人は危機的状況にあり、3人は重体、7人は負傷、残りは軽い負傷でした。(1人の軍人はその攻撃で足を失いました。)

現在、イスラエルの国会、クネセットには大きな不安があります。ワシントンで11月に予定されている中東平和サミット(米国が支持している)が中止になるのを避けるため、イスラエルは報復を控えています。しかしながら、平和サミットを中止してまでも、このテロ攻撃に応じるべきだというクネセットの有力議員からの要求もあります。」(2007年9月11日CBNNews.com)

毎日のように戦争による負傷者・死者の情報に私達の心は痛みますが、主イエス様の救いの血潮を受けずに死ぬならば、人々は永遠に苦しみ続けます。ですから、私たちはイスラエルでイエス・キリストの福音を宣べ伝えるように召された人々のために「破れ口」に立つ必要があります。

# 2学期・3学期のゲストスピーカーのご紹介

●ゲスト講師の授業は、聴講は無料(席上献金あり)ですが、アルプスコースとCMPコースは有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



●2008年1月21日(月)~25日(金)

全日本リバイバルミッション代表  
リバイバル聖書神学校校長

## 有賀喜一師

●1・2時間目(全体授業)



●2008年2月4日(月)~8日(金)

ファミリー・フォーラム・ジャパン  
責任役員、性教育コーディネーター

## ジョナサン・ベネディクト師

●CMP/午前9:15~11:25までの2時間  
●全体/11:30~12:30までの1時間



●2008年3月3日(月)~6日(木)

横浜グレースバプトルチャーチ牧師

## スコット・ダウマ師

●1・2時間目(全体授業)  
7日は卒業式 午前九時より



●10月22日(月)~26日(金)

世界的児童伝道ミニスター  
チェコスロバキア在住

## ジャネット・マッキー師

●CMP/午前8:45~10:55までの2時間  
●全体/11時~12時までの1時間

「ジャネット・マッキー師によるCS教師セミナー開催」  
●日時/10月27日(土)午後1時~3時迄(自由献金)



●10月29日(月)~11月2日(金)

リージェント大学卒・リーダーシップ学博士号取得

## ブルース・マグナルド師

●アルプス/午前8:45~10:55までの2時間  
(31日は通常授業になります)



●11月5日(月)~11月16日(金)

熊本県 大津キリスト教会牧師

## 米村英二師

1週目●全体/午前8:45~10:55迄  
2週目●CMP/13日~15日まで  
午前8:45~10:55までの2時間  
●アルプス/11時~12時までの1時間  
(14日は1・2・3時間)

## アウトリーチ 支援のお願い

CFNJ聖書学院「海外宣教実習」2007年11月26日~12月6日

●宣教地/タイ&ミャンマー・フィリピン

「なぜなら、この援助の働きは、聖徒たちの欠乏を補うだけでなく、神に対する多くの感謝によってますます豊かになるからである。」Ⅱコリント9:12

学生から

「私たちはこのミャンマー・アウトリーチを本当に心待ちにしています。現在アウトリーチのための費用がまだ必要額まで満たされていません。この事を特別にお祈りくださり、また、ご支援のほどをお願い申し上げます。」

いつもCFNJ聖書学院のために祈り、ささげくださり心より感謝いたします。CFNJ聖書学院では11月26日~12月6日の日程で●フィリピンと●タイ&ミャンマーの2チームでアウトリーチに行くことを計画しております。(※10月3日現在、ミャンマーの情勢が定まらないため、決行は未定です。)すでにアウトリーチのためにささげくださり心より感謝します。今のところ約250万円の必要があります。フィリピンもミャンマーも貧しい国で、教会の経済的必要性も大きいです。私たちは、アウトリーチのための必要が満たされるだけでなく、現地の教会にも献金をささげたいと願っています。どうぞ、この必要を覚えてぜひお祈りくださると共に、献金をもってご支援くださいますようお願いいたします。

●フィリピン・アウトリーチ/一人あたり15万円の必要  
●タイ&ミャンマー・アウトリーチ/一人あたり23万円の必要 宣教必要目標額 約合計250万円

## 「網戸・洗濯機の為のご支援のお願い」の報告と感謝!



■新しく設置された網戸と洗濯機(女子寮のみ)

主の御名をほめたたえます!

いつも私どもCFNJ聖書学院のために祈りと献金を持ってご支援して下さる事を心より感謝いたします。「CFNJ NEWS 124号」で「網戸・洗濯機のご支援のお願い」を送らせていただきました。その結果多くの方々からの献金があり、網戸の修理を行うと共に女子寮の洗濯機を購入する事が出来ました。主に感謝すると共に、私たちの呼びかけに素早く応答してくださいました、お一人お一人に心より感謝いたします。主からの豊かな祝福がありますように!

2007年10月恵日 CFNJ聖書学院 学院長 鍛冶川利文